

# 金属保護フィルム 販売・加工の「城山」

## ファイバーレーザー切断用

### 粘着剤除去剤の販売強化

### ステンレス、アルミに対応

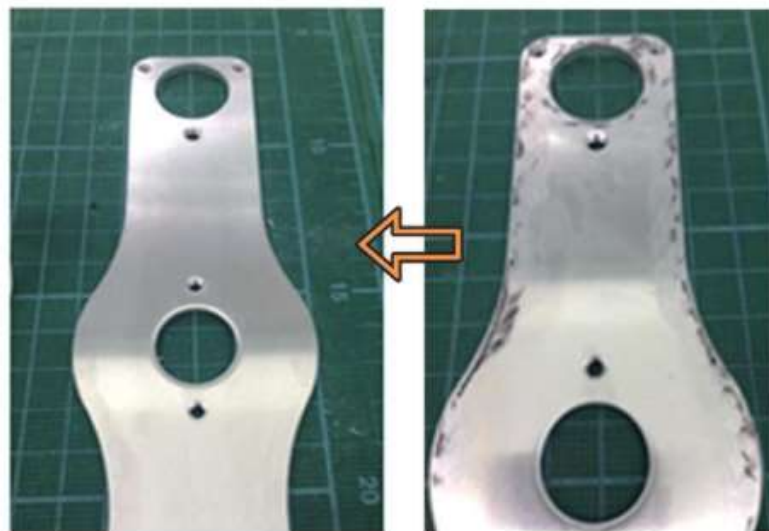
意匠性金属板保護フィルム  
の販売、加工を手掛ける城山（本社・名古屋市中東区、社長・加藤隆介氏）は、ステンレス、アルミのファイバーレーザー加工時に発生するフィルムの残り、すすを手軽に除去するメーカー共同開発商品「さすが！

ECOピカッ!!」の販売を強化する。環境対応型の成分を使用し、作業安全性が向上。フィルムの直接販売先であるコイルセンター（CC）だけでなく、最終加工を行うユーザーもターゲットに拡販を目指す構えだ。近年、ファイバー

レーザー加工機による鋼板切断が主流となりつつあるが、加工時は表面を保護する専用のフィルムを貼る。このフィルム中に含まれる顔料や粘着剤成分が、切断加工時に発生した熱によって鋼材に対し、のり残りやすさを発生させている。

意匠性を重視するステンレス、アルミはこの汚れを取り除いて出荷する必要が生じ、一般的にシンナーなどで除去している。しかし薬剤をPRTTR法に基づいて管理する義務が生じ、人体への影響も懸念されている。こうした状況を受

製品使用前①と使用后



け、城山は溶剤メーカー「ECOピカッ!!」を共同開発し、市場投入した。同製品は、PRTTR

法の管理対象に該当しない独自成分を採用。臭気がほとんど発生しない。洗浄箇所に溶液を塗布しウエスで軽く拭くだけで、簡単にのり汚れを取ることができる。速乾タイプのため作業もスムーズに進められる。

一斗缶16リットル6千円（消費税・送料別）と、既存の除去剤と同等の価格を設定する。城山はフィルムを納入するCCへの販売に加え、CCを通じて最終需要家への拡販にも注力する方針だ。

問い合わせ、サンプル請求は電話052-737-2223。